



# 11月園だより

令和5年11月1日  
第三ひもんや保育園園長

先月の運動会では286名の保護者、地域の方々が参加くださり、秋晴れの中無事に終えることが出来ました。様々ご理解ご協力を頂きありがとうございました。運動会が終わり子どもたちの顔つきも一回りお兄さんお姉さんになりました。今月も秋の自然に触れながら戸外活動など様々な活動を通して、子どもたちを見守っていきたいと思います。先日の保育日誌にこんな記録がありました。0歳児クラスが困っている時に保育士の関わりを見て、同じようにやればいいのかという考え方が単なる優しさとは違う深みがあると書かれていました。子どもたちは日常の経験を色々な場面で生かしています。楽しいことだけではなく、悲しさ、悔しさなど色々な感情を経験することで相手の気持ちを想像する力を養っていきます。5歳児なりに考えを巡らせながら関わる姿が「深み」という表現になったのだと思います。自分たちが楽しむだけではなく、どのようにしたら皆が楽しめるのかを考えて関わる中で、人のために役に立つことの喜びを感じながら生活する年長児の姿に豊かな心の育ちを感じます。クラスの枠を超えて0歳児クラス～4歳児クラスの子どもたちも遊びを通してそんな年長児の姿を見たり、肌で感じていることと思います。先日5歳児クラスの発信で行ったお祭りごっこの様子をご紹介します。

## <11月の予定>

焼き芋会 《雨天時翌日》 (全園児)  
乳児お楽しみ会 (0、1、2歳児)  
交通安全シオラマ教室 (5歳児)  
身体計測 (全園児)  
避難訓練 (全園児)

## <12月の予定>

大きくなったね会 (3、4、5歳児)  
しめ縄作り (4、5歳児)

## お祭りごっこ

10月13日(金)に5歳児クラスのお祭りごっこが開催されました。普段楽しんでいるごっこ遊びに全園児・職員が招待され、異年齢での関わりを楽しむひと時を過ごしました。

### 金魚すくい

「入れ物を近づけると取りやすいですよ」などすくい方のコツを教えてくださいます。コツを聞きお客さんは何度も繰り返しチャレンジしていました。

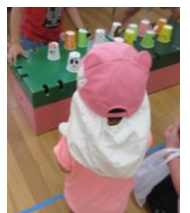


### スーパーボールすくい

年齢に合わせて、箱を動かす速さやすくう道具を変え皆を楽しませています。

### 射的

0歳児クラスの子が来ると、取りやすいように的を前に動かしています。最終的に目の前まで動かしてくれました。



### 焼きそば、たこ焼き

おいしそうなお食べ物に皆、大喜びです。机の上に調味料があり小さなお客さんたちは好みの味に仕上げました。

### カメラマン

手作りの素敵なカメラを構えたカメラマンが皆の写真を撮ってくれました。



### おみこし

お神輿は大人気で飾りを眺め嬉しそうにしています。お神輿を担ぐ体験もしました。お祭りのフィナーレには、5歳児が廊下を練り歩き、他のクラスの子たちから「わっしょい」の大歓声が湧きあがりました。



# 幼児クラスの室内遊びの様子をお知らせします



## 3歳児クラス（みつばち組）

### 「積み木のおうちで」

積み木で家を作って遊ぶ子どもたちが増えています。隙間を作らないように丁寧に並べ、少しずつできていく家を見て「何作ってるの」と、興味を持った子が集まってきました。「ここはお風呂ね」「じゃあここはトイレにしようか」と話しながら作っています。お風呂の中にコップが入っていたのでそれは何か聞くと『どんな怪我でも治す魔法の薬』とのことでした。家の中に複数のトイレがあったり、魔法の薬入りのお風呂があったりなど、子どもたちの発想は自由です。家が出来上がると「動物さん持ってくるね」と家に動物を並べます。積み木の上を渡らせてお風呂に行き「お風呂はあったかいなあ」「薬で怪我が治った」と湯船を堪能したり「今日は疲れたからもう寝るね」「寝る前にはトイレに行っておこう」など普段の生活を再現しながら友達と遊んでいます。日常の経験やファンタジーの世界など、イメージを膨らませ遊びが広がる楽しい空間です。一つの遊びの中に、作る楽しさ、イメージする楽しさ、友達と遊ぶ楽しさなど色々なものが詰まっています。日々広がっている遊びの世界をこれからも大切にしていきたいです。



## 4歳児クラス（とんぼ組）

### 「お店屋さんごっこ」

チラシの束の中から食べ物を選び、丁寧に切り抜いている子がいました。「フルーツ屋さんをしよう」とひらめき、切り抜いたフルーツを段ボールの台の上に並べてお店屋さんが始まりました。「じゃあ僕、お金つくるよ」と画用紙を丸や四角に切り、数字を書いていきます。「財布も作らなきゃ」と大きな紙を折ってすずらんテープをつなげ、カバンのような財布が出来上がりました。「いらっしゃいませ」「どれにしようかな」「これが安いですよ」とお店屋さんがお客さんに商品を勧めています。支払いになるとカードや電子マネーなど支払い方法も選べます。生活の体験がしっかり生きています。お寿司やケーキなどの切り抜きも加わり、切ったものをお皿に乗せて回転寿司屋さんやケーキ屋さんなどにも発展していきました。切ったり作ったりするだけで満足するのではなく、それを使ってやりとりを楽しむ姿もたくさん見られるようになってきました。色々な素材や用具を用意し考えたことを表現できるように、保育士も一緒に楽しみながら関わっていきたいと思います。



## 5歳児クラス（かぶとむし組）

### 「手裏剣シュシュシュ」

最近、子どもたちが夢中になっている遊びのひとつに手裏剣飛ばしがあります。主にクラスの前の廊下を会場にして、手裏剣の飛距離を伸ばす練習をしたり、的にあててポイントを集める遊びが盛り上がっています。ルールは遊びながら自分達で考えて決めています。初めはチラシの折り紙一枚で折っただけの手裏剣を使っていましたが、だんだんと色の組み合わせにこだわって自分のオリジナルデザインの手裏剣を作る子が出てきました。さらにどう投げたら飛距離が伸びるのかも研究し、色々な方法を試しています。ある日「重い方がよく飛ぶ」という発見をした子がいました。すると「じゃあ手裏剣を二枚重ねてみよう」と手裏剣をふたつ、みっつと重ねて貼り付ける作戦が編み出されました。また、投げるフォームによっても飛び方や距離が違いうように日々試行錯誤を繰り返しています。面白いと思ったことを、友達と共有しながらとことん追求して楽しむ子どもたちの情熱に感心しています。これからも遊びの広がりを楽しみながら、主体的な生活が送れるように関わっていきたいと思います。